

# トキソプラズマ症

トキソプラズマ症は、人や豚をはじめ、多くの動物が感染する人獣共通感染症の一つです。

**原因** トキソプラズマという寄生虫のオーシスト（卵のようなもの）を口から摂取することにより感染する病気です。**オーシストは猫の糞便中に排泄され、いろいろな動物に感染します。**

**症状** 豚では症状を示さない慢性例が多いのですが、急性例では、

- ・ 40～42℃の発熱、元気、食欲ともなくなる
- ・ 鼻が汚れる
- ・ お腹で呼吸する
- ・ 腰がふらつく

などの症状が見られます。

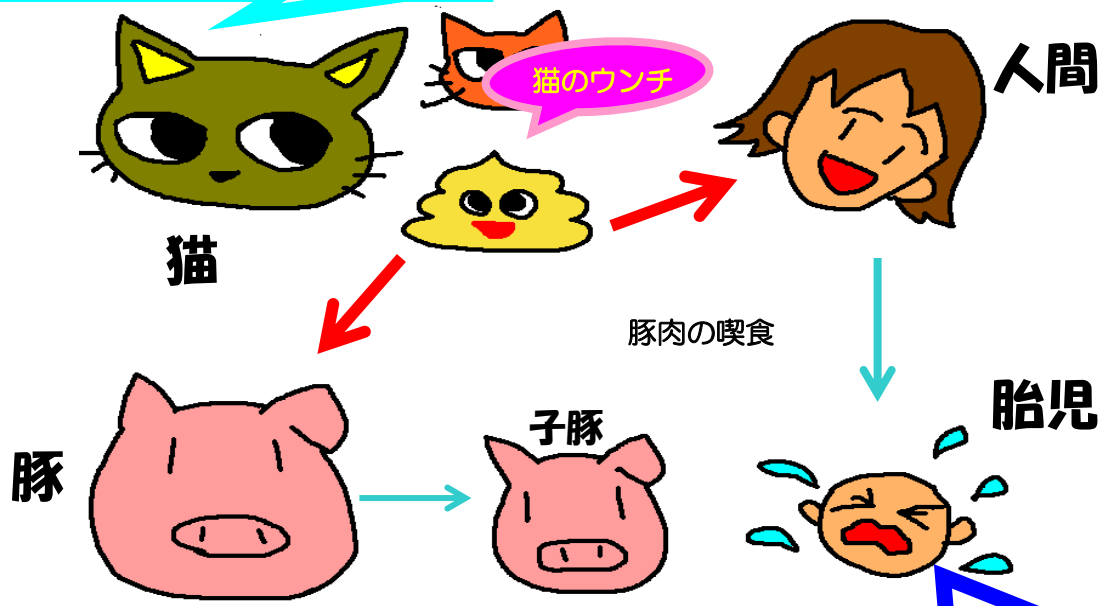
しかし、これらの症状だけでは、他の病気（豚コレラ等）との区別が難しいので、家畜保健衛生所への相談をお勧めします。

**予防・対策**

- ・ 猫を豚舎に近づけない。特に子猫は、多くのオーシストを排泄するので注意が必要。猫の排泄物を手や靴につけて豚舎に出入りしない。

私のうんちをキチンと片付けば、豚や人間への感染を防げるキャン。

## トキソプラズマの感染経路



お肉はしっかり加熱（75℃、1分以上）して食べましょう。

お母さんが感染してしまうと僕にも感染してしまうよ。

人では、オーシストの付着した野菜や土などから感染することがあります。もし、抗体をもっていない女性が妊娠初期に感染すると胎児も感染し、流産・早産等を起こすことがあるため、特に注意しましょう。

ご家族の健康に不安がある場合は病院でトキソプラズマ抗体検査を受けることができます。

リーフレットの内容に関するお問い合わせは下記にご連絡下さい

北海道東藻琴食肉衛生検査所 TEL 0152-66-2001 FAX 0152-66-3576

E-Mail : abashiriho.higashi1@pref.hokkaido.lg.jp

(迷惑メール防止のため「@」を全角にしています。メールを送る際は、半角に置き換えてください)